



食品ロスに海ごみ、マイクロプラスチック…

この数年メディアが多く取り上げるようになり、「ごみ」が急にクローズアップされて関心が高まりました。どれも今に始まった問題ではないのですが、報道の力はすごいですね。

そしていま、国も具体的な動きを見せるようになってきました。

11回目になる「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩」では、食品ロス削減の取り組みについて、農水省から最新情報が聞けます。

プラスチックも生ごみも、リサイクルの前に、リデュース!! ですからね。

第11回 生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2019

食品ロス削減に向けて



6月22日(土) 13:30~16:30

国分寺労政会館 3階第3会議室
(中央線・西武線国分寺駅南口徒歩5分)

【基調講演】

『食品ロスの発生状況と削減の取り組み』

農林水産省食料産業局食品産業環境対策室長 野島昌浩さん

『市民・事業者との協働で取り組む食品ロス削減』

八王子市資源循環部ごみ減量対策課長 坂野優一さん

『日本での食料支援と課題』

NPO 法人シェアマインド代表 松本靖子さん

『今日からできる！簡単美味しいエコクッキング』

野菜ソムリエプロ/日野市エコクッキング講師 大原千絵美さん

*チラシを同封しています。

ごみっと・SUN 購読キャンペーン!!

15pの注目資料をご覧になりましたか？全国的にみても多摩地域はごみ減量のトップランナーです。これまでの取り組みの積み重ねでここまで来ました。

20年間コツコツと活動してきたごみかんとその会員さん。市民も行政も共にレベルアップしてきた成果ではないでしょうか？(自画自賛(ΛmΛ))

そこで！会員の皆さんの身近に、ごみに関心を持つ方がいらしたら、ごみっと・SUNの購読をお勧めくださいませんか？

特に新人議員さんは、ごみっと・SUNを購読して、ごみに強くなってほしいですね。ごみっと・SUNの見本紙をお送りしますので、どうぞご請求ください。

*年間6回発行 個人3千円、団体6千円(5部送付)

＊ごみ6のびん日記

春先に妹が「5月中旬に広島へ行きたい」と言い出し、一度も広島を訪れていないことがずつと気になっていた私は、ごみっと制作期間のど真ん中に4日間の広島旅行を計画してしまいました。それでも早めに入稿してくれた原稿を7割がたレイアウトできたので、少し安心して17日に広島へ向かいました。4日間のうち3日間は、錦帯橋宮島、とびしま海道など毎日1万歩以上歩いている観光で、2日目、満を持して早朝から広島平和記念公園へ向かいました。原爆ドーム前でボランティアガイドをしなから「核兵器禁止条約の早期締結を求める署名」を集めている方から、街に散らばる原爆遺構を教えてもらい、被爆したお地藏さんや爆心地直下でも倒壊しなかった日銀などを回った後、一番の目的地、この10連休の直前にリニューアルオープンした広島平和記念資料館へ。以前は東館と本館両方を1日で見るのはきつかったそうですが、リニューアルした館内は東館と本館をいっしょに回らせる工夫に満ちていました。本館は被爆者の遺品や写真が中心。解説パネルは書き方も量もとても読みやすい。ただ、学生や子どもの遺品に対峙すると、悔しさや悲しみがエネルギーを大きく消耗し、途中でベンチにへたり込みました。土曜日ということもあり、館内はぎっしりの人。でも誰もが無言でパネルを熱心に読み、不思議な静寂に満ちていました。外国人が半分以上で、若い白人男性が目立ちます。福島菊次郎さんが10年に渡って写真を撮り続けた「N家の崩壊」は圧巻でした。父親が原爆がらみで病に侵され貧困の中で苦しんだN家。以前はなかった展示だそう。展示全体に被曝後長く苦しみが続く放射線障害に重きを置いている印象がありました。遺品や写真が突きつけてくる戦争の「拳の果て」。核兵器禁止条約を批准できない想像力欠如の政府の面々に見に来てほしい。

ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円(一口)

郵便振替 □座名: ごみ・環境ビジョン21
□座番号: 00130-1-603521

◆ごみっと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。